

## 47. zu 不定詞

### 1. 動詞の不定詞について

英語では不定詞というと *to* + 原形のことを意味しますが、ドイツ語では不定詞とはまだ主語をもっていない動詞のことをいいます。不定詞は主語の人称にあわせて人称変化をすると定動詞になりますが、ドイツ語では大文字で書き始めれば名詞として用いることもできます。

不定詞	定形	名詞
trinken	Er trinkt Wein.	Trinken
<i>to drink</i>	<i>He drinks wine.</i>	<i>drinking</i>

この大文字で書かれた不定詞はほんらいは中性名詞としてあつかいますが、しばしば冠詞をつけずに「…すること」という意味で使われます。

Leben ist Arbeiten. 「生きるとは働くことである」  
Trinken ist für mich besser als Essen. 「飲むほうが僕には食べるよりいい」

ドイツ語はこの不定詞の前に方向を表わす前置詞の *zu* をつけることでよりはっきりと名詞であることを示すようになりました。しかし今ではこの *zu* は本来の意味を失って、単に不定詞であることを示す記号となっています。従って原則的には *zu* と不定詞の組み合わせは名詞として使われます。

### 2. zu 不定詞のかたち

英語の *to* + 原形はもともとドイツ語から移入されたもので、ドイツ語ではこれを *zu* 不定詞といいます。英語とことなる点はおもに次の2点です。

a) *zu* 不定詞はその不定詞句の末尾におく。

Ich bin bereit, die Reise zu machen. 「私は旅の用意はできている」

b) *zu* 不定詞句はその前の文成分と区別するためにコンマ(,)で区切る。

Es freut mich, Sie zu sehen. 「あなたにお会いして私はうれしい」

「定動詞要素後置の原則」で学んだように、ドイツ語では動詞の不定詞を含む動詞句は動詞の不定詞が句の末尾におかれるきまりで、熟語の場合にも辞書にもこうした形で表記されています。

in die Schule gehen 「登校する、学校へ通う」

*zu* 不定詞句はこの *gehen* の前に *zu* がついたものです。

in die Schule zu gehen 「登校すること、学校へ通うこと」

### 3. zu 不定詞の用法

英語と同様にそれぞれ名詞的用法、形容詞的用法、副詞的用法があります。

#### a. 名詞的用法

主語として

Das Buch zu lesen ist interessant. 「本を読むことはおもしろい」

上の例のように *zu* 不定詞がはっきりと他の文章成分と区別できるときはコンマで区切りません。

動詞 sein とともに主語を補足して

Mein Wunsch ist, an der Universität Jura zu studieren.

「僕の希望は法学部で学ぶことです」

しかし sein + 不定詞がコンマをおかない場合はしばしば「…されうる、…されねばならない」という熟語的表現に用いられます。

sein + zu 不定詞 「…されうる」(受動的な意味で同時に可能も表わす)

「…されねばならない」(受動と義務の意味を表わす)

Das Problem ist leicht zu lösen. 「その問題は簡単に解かれうる」

Die Pflicht ist immer zu tun. 「義務はつねに果たされねばならない」

目的語として

Ich verspreche dir, gleich zurückzukommen.

「僕は君にすぐ戻ってくると約束する」

分離動詞を zu 不定詞で用いる場合は接頭語と動詞のあいだに zu を挿入します。

熟語として

brauchen + zu 不定詞 「…する必要がある」

Heute brauchst du nicht zu kommen. 「今日は君は来なくてもいい」

haben + zu 不定詞 「…しなくてはならない」

Du hast noch fleißiger zu lernen. *you have to learn more harder.*

あるいは英語の *have to* 原形と同様に「…すべきものがある」と訳す場合もあります。

Ich habe nichts zu essen. *I have nothing to eat.*

## b. 形容詞的用法

zu 不定詞の前にある名詞を修飾したり、その名詞の内容を補足します。

Ich habe keine Zeit, in die Stadt zu fahren.

「私は町へいく時間がない」

## c. 副詞的用法

zu 不定詞句の先頭に一定の語をおくと、その zu 不定詞は副詞的に用いられます。

um + zu 不定詞 「…するために」

Er lernt Deutsch, um nach Deutschland zu fahren.

「彼はドイツへ行くためにドイツ語を学んでいる」

ohne + zu 不定詞 「…することなしに」

Wir arbeiten immer, ohne zu ruhen.

「我々は休むこともなくいつも働く」

statt (あるいは anstatt ) + zu 不定詞 「…するかわりに」

Statt ein Taxi zu nehmen, fahre ich mit dem Zug in die Stadt.

「タクシーに乗るかわりに僕は電車で町へ行く」

しばしば da(r) + 前置詞が zu 不定詞句を指すことがあります。

Ich freue mich darauf, Sie zu sehen. 「あなたにお会いできてうれしい」